

1

観察会並びに植生調査

1名の方のご参加と千葉大生の調査活動指導も併せてみんなで季節の植物等を観賞しました。



参加者の皆様

ヒキヨモギ

移植地の3株と既存の1株、計4株の開花を確認しました。
隣接の開発地にヒキヨモギが群生していましたが、僅かしか咲いていませんでした。自然は思い通りには行きません。



アキカラマツ

花弁のように見えるのは萼であり、多数の長い雄しべが目立ちます。

クサギ

葉に特有の匂いがあることからこの名がつきました。

ハエドクソウ

根を煮詰めた汁でハエ取り紙を作るにつかわれました。



ヤブマオ

葉の脇から穂状花序が出ています。

キツネノマゴ

唇形花の下唇には昆虫に密のありかを示す白い模様があります。

コバギボウシ

日当たりの良い湿地に生える多年草です。

○ タラノキ



タラノキ

樹高4m程度に育っています。淡緑白色の小さな花を多数つけています。

花序

幼木

新芽

(4月初旬撮影)

樹齢や季節によって様々な顔を見せてくれます。

○ クズ



クズの花

クズ

日本ではクズは古くから食用(葛粉)や薬用(葛根・葛花・葛葉)に用いられています。

1900年ごろアメリカの牧場の飼料植物として日本から種子を輸入し、牧草として栽培されました。

その後、ダム建設時の斜面崩壊防止の役割などを果たして評価されていましたが、その猛烈な繁殖力によって鉄塔に登ってその送電線をその重みで断ち切ったなどの被害がでており、「グリーン・スネーク(緑のヘビ)」と呼ばれて嫌われているそうです。

日本ではセイタカアワダチソウやブタクサなどの外来種を嫌っていますが、その逆の状況です。

クズは繁殖力が強いため、当園においても、他の植物に被害を与えるような事象があり、適正な管理の必要性を感じています。

○ 昆虫



スケバハゴロモ

カメムシの仲間です。主にクワの木の汁を吸います。



アオドウガネ

夜行性で、広葉樹の葉を食べます。